

# INTERFACE

仙台市立仙台青陵中等教育学校  
第1学年 学年通信  
インターフェイス  
第11号 令和3年11月1日

## 2学期が快調にスタートしました

10月22日（金）に開催されました第1学年保護者会には、今回も大勢の保護者の皆様にお集まり頂きまして誠にありがとうございました。当日は晴天にも恵まれ、保護者会に先立って行われました学年行事では、NPO法人「珀杜」の鈴木充子さんと佐藤義昭さんを講師にお迎えして、青陵の森を案内して頂きました。散策中は、インスタ映えする美しい滝や木立の頂にトンビが作った巣等の豊かな自然の情景に触れることができ、たいへん有意義なひとときを過ごすことができました。行事をご準備頂いた学年委員の保護者の皆様には、この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

さて、2学期がスタートしました。各学級の係分担が新しくなり、生徒たちはまた新鮮な気持ちで学校生活を進めることができいております。学年委員会では**2学期の学年目標**を次のように設定しました。

**一互一笑**（いちごいちえ）～だれ一人取り残さない140人～

11月のスローガン：**みんなで押そう自分のスイッチ**

この目標には、「140人が互いに笑顔で励まし合いながら、楽しむ時間と集中する時間のメリハリをみんなでつけていこう」という願いが込められています。より良い学年集団に高め合えるように学校では支援して参ります。保護者の皆様には引き続き、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 基礎進路講演会で環境問題について考えました



10月19日（火）に1年生を対象とした基礎進路講演会を実施しました。キリバスの国籍を取得されて各地で環境問題について講演をされているケンタロ・オノさんを講師にお迎えして、豊富なご経験をもとに地球温暖化がもたらすさまざまな問題を生徒に熱く語って頂きました。世界の経済的な発展が進むにつれて、深刻さを増す環境問題は「サイエンスやデータ上の問題ではない。」「写真に写るこの子どもたちの目を見て、『ゴメン、君たちの住む国は20年後なくなるから』と言えるか?」「この子どもたちが大人になったとき、『お兄ちゃん、お姉ちゃん、私たちの国がなくなるってこと知ってたんだよね。なのに今まで何してたの?』と聞かれたときに、あなたは何と答えるか?」という問いかけで講演は締め括られました。

## 基礎進路講演会の感想

### 【1組】

ケンタロ・オノさんのキリバスへの思いがとても伝わってくる講演でした。私も南国が大好きなので、キリバスの写真を見て、キリバスへ行って、海辺の壁も窓もない家に住んでみたいと思いました。キリバスは世界で3番目に二酸化炭素排出量が少ないのに、他の国の影響で苦しい生活を送っていることがとてもショックでした。私は子ども新聞の記者をさせていただいたことがあったので、SDGsについて調べたことがありました。そのとき、私は世界の人と水と海について調べました。そして、全国の子ども新聞の記者と話をしたことを覚えています。未来の世界でも世界中のだれもが変わらない豊かな生活をおくることができるように、世界に向けて発信している人がたくさんいます。私もその1人になりたいと思います。

( ○○ ○○さん )

南の島に興味があるという理由だけで、たった1人で、しかも高校1年生の若さで他の国に行くケンタロ・オノさんの行動力がすごいと思いました。地球温暖化の話になったとき、2050年にはキリバスの80%が海に沈んでしまい、そこに暮らす人達の思い出もなくなってしまうといのは、とても悲しいことだと思いました。赤ちゃんが海水の混じった地下水を飲んで弱ってしまう問題は早く解決しないといけないと感じました。2030年までに SDGsを達成できれば、キリバスなども今まで通りに生活することができるので、達成できるように自分ができることを頑張っていきたいです。

( ○○ ○○さん )

### 【3組】

まずケンタロ・オノさんの行動力がすごいと思いました。私は、どこまでできるかわからないけれど、やりたいことが見つかったら、それに対する熱意を大人に精一杯伝えて自分だけの道を作りたいと思いました。また、「自分にとって最大の敵は自分」という言葉が印象に残ったので、挫折しそうになったら、この言葉を思い出して夢に近づく努力を続けていきたいです。次にキリバスという国について場所や人口、伝統、国旗に込められた意味などを詳しく教えていただいたので、興味を持って聞くことができました。そして、キリバスと地球温暖化について必死に話すケンタロ・オノさんの姿に強く胸を打たれました。なぜなら、ケンタロ・オノさんの立場になって考えたときに、自分の故郷や大切な人の思い出や命までもが失われていくなんて絶対に嫌だと感じたからです。今回の講演を聞いて、同じ世界に生きる一人として地球温暖化におびえながら生きている人々の自由を取り戻したいと強く思いました。そして、自分には何ができるのかを改めて考えるきっかけを作っていただいたケンタロ・オノには感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

( ○○ ○○さん )

今回の講演会で話を聞いて、地球温暖化がとても身近にあるものだということが分かった。ケンタロさんはキリバスにはどんな良いところがあるかと、そこに現在どんな危機がせまっているかの両方についてたくさん話をしてくれた。特に印象に残っているのは、人間がたくさんものを使い過ぎたせいで、地球温暖化を引き起こしてしまったということ。ケンタロさんはこれについて我々人間は「石油を使い過ぎた。森を壊し過ぎた。海を埋め立て過ぎた。食べ物を無駄にし過ぎた。」という言葉は何度も繰り返していた。私がいかに今できることは食べ物を無駄にしないことだと思う。例えば賞味期限が過ぎて手を付けずに捨ててしまうようなことをなくすように気を付けたい。これからも地球温暖化を少しでも防げるようにボランティア活動に積極的に取り組めるようにしていきたい。

( ○○ ○○さん )

## 【2組】

地球温暖化について、今までで一番心に残る話でした。地球温暖化がまずいことになっていることは知っていました。しかし、ケンタロ・オノさんの経験やスライドを見て、今までの自分は問題を甘く見ていたと思いました。どの国も島も、海を隔てて日本と必ずつながっており、日本人一人ひとりの行動がすべての国と島に反映すると思いました。また、ケンタロ・オノさんは人間味があふれていて、自分のことをしっかり愛せている人だということを感じました。このような方だからこそ、好奇心から始めたことを、自分自身の考え方と伝え方で大きな行動や勇気につなげられたのだと思いました。私は小さい頃から、外国に興味があり、将来は国連職員になりたいと考えています。逃げたいと弱気になってしまったとき、今日の話思い出して、夢を必ず実現させたいです。そして、将来の自分の夢のためだけでなく、世界環境のために「これって、本当に必要？」と自分の行動を見直していきたいです。 (〇〇 〇〇さん)

オノ先生の説明を聞いて、キリバスの魅力や素晴らしさがすごく分かりました。しかし、そんなキリバスを私たちが消してしまいそうになっていることを知り、考え直さなければならないことがたくさんあると思いました。そこから自分が生きる上で大切なことをたくさん教えていただいたので、とても心に響きました。子どもが大人に自分の思いをぶつけることで夢は実現すること、自分の夢の実現を一番邪魔するのは自分であること、人は考え方や意見がみんな違って、それがおもしろいということ、地球を大切にすれば、地球は必ず応えてくれるということ、希望と愛があれば世界はなくなることなど、心に残るキーワードがたくさんありました。今後はこのような視点を大切に地球を守っていきたいです。 (〇〇 〇〇さん)

## 【4組】

ケンタロ・オノ先生が初めに「大人には本気を伝えたら応えてくれる」と言っていて、最後に「希望を失わずに正しいことをやり続ければ、地球は応えてくれる」と言っていました。これらの言葉を聞いて、一生懸命にやれば結果は必ず返ってくるから、まずはやってみるというような先生の生き方が感じられて、参考にしたいと思いました。また、キリバスの国の話では日本と違うことがあって驚いたり、昔から日本との関わりがあったことを知ったりすることができておもしろかったです。地球温暖化については、つらい思いをしている人がいるということや個人でも地球温暖化の改善に向けてできることを改めて考えることができました。先生は「小さな輪がないと大きな輪が作れない」とおっしゃっていました。これを聞いて、CO<sub>2</sub>の削減は誰かがやってくれるとは思わずに、自分ができることを積極的に実践して、その輪を周りの人に少しずつ広げていきたいと思いました。 (〇〇 〇〇さん)

この講演会を聞くまでキリバスという国を知りませんでした。この国について沢山知ることができました。キリバスという国は昔から日本と交流していたということにとってもびっくりしました。後半では気候変動や地球温暖化の影響について教えていただきました。昔は海水が絶対に入らなかったところから今では海水が入っているというのは、そこに住んでいる人達にとってとても大変なことだと思います。地球温暖化の問題は単なる理科の問題ではなく、まだまだ生きることができるはずだった子どもたちの命までを奪ってしまっているということに心が痛くなりました。講師のケンタロ・オノさんが時々大きな声でその言葉を協調しているのを聞いて、ケンタロ・オノさんが大切に思っている国と人の命について、みんなに知ってもらいたいと真剣に思っていることが伝わってきました。私もこれからは CO<sub>2</sub>の排出削減に目を向けて、自分から地球を救っていかねばならないと思います。 (〇〇 〇〇さん)

## 11月の行事予定と時間割

日	曜	行 事	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
1	月		1	論	3	4	5	6	7
2	火		8	AE	10	11	12	総	総
3	水	文化の日							
4	木	教科研究会のため5時限授業 部活動はあります	22	23	24	25	26		
5	金	中間考査出題範囲表配布・学習補充日・学校評価一斉送信	29	30	31	32	33	34	学
6	土								
7	日	(英検2次)							
8	月	教員研修のため6時限授業 部活動はあります	1	調	3	4	5	6	
9	火		8	AE	10	11	12	総	総
10	水	各種委員会	15	16	17	道	19	20	21
11	木		22	23	24	25	26	27	28
12	金	秋季生徒総会・学習補充日	30	31	32	33	34	生	生
13	土	土曜学習会(テスト勉強 9:00-12:00 視聴覚室)							
14	日								
15	月	部活動中止期間(～11/23)	1	論	3	4	5	6	7
16	火		8	AE	10	11	12	総	総
17	水		15	16	17	道	19	20	21
18	木	放課後学習会(数・国)	22	23	24	25	26	27	28
19	金	放課後学習会(社・理・英)・学校評価入力区切り日です	29	30	31	32	33	34	学
20	土								
21	日								
22	月	2学期中間考査 給食なしで下校になります	数	国					
23	火	勤労感謝の日							
24	水	2学期中間考査 給食あり・部活動が再開します	社	理	英				
25	木		22	23	24	25	26	27	28
26	金	学習補充日	29	30	31	32	33	34	道
27	土								
28	日								
29	月	二者面談(～12/3)	1	論	3	4	5	6	
30	火		8	AE	10	11	12	総	

9月1日に実施されました2回目の学力推移調査の結果を先日配布いたしました。生徒が記入した調査結果の振り返り用紙と結果通知表を御家庭に持ち帰りましたので、11月22日(月)から始まる2学期の中間考査に向けて、秋の夜長の家庭学習が充実するようにご活用下さい。